



## Chapter 3 キャンパスライフ

キリスト教の大学ですので入学式から卒業式まで、またイースター礼拝やクリスマス点火式などキャンパスで行われるイベントがミッションスクールの雰囲気にあふれています。サークル活動も盛んで、全国的に活躍している部も多くあります。1学科80~100名1学年600名という規模ですので、学生と教職員、学生一人ひとりが大変フレンドリーで、うれしいことがあれば共に喜び、困ったことがあれば助け合うという気風にあふれたキャンパスです。埼玉県を中心部大宮駅から一駅という交通の便に恵まれたところがありますが、キャンパスは緑にあふれ、四季の変化を豊かに感じることもできるのも特色です。

# 在学者数

学部学生数 (2012年5月1日現在)

## 政治経済学部

学科名	政治経済学科			コミュニティ政策学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	100	97	8	80	76	17	173
2年	100	107	19	100	99	23	206
3年	100	103	11	100	112	20	215
4年	100	124	18	100	115	18	239
合計	400	431	56	380	402	78	833

## 人文学部

学科名	欧米文化学科			日本文化学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	80	80	32	80	91	36	171
2年	100	90	49	100	93	35	183
3年	100	90	43	100	104	53	194
4年	100	119	46	100	141	54	260
合計	380	379	170	380	429	178	808

## 人間福祉学部

学科名	児童学科			こども心理学科			人間福祉学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	100	110	68	80	70	31	80	82	40	262
2年	100	114	73	—	—	—	100	105	40	219
3年	100	116	70	—	—	—	100	92	37	208
4年	100	113	71	—	—	—	100	111	59	224
合計	400	453	282	80	70	31	380	390	176	913

## 学生数総計

合計	2,554 (内女子数 971)
----	------------------

## 国籍別留学生数(2012年度)

※学部生のみ

国籍	男子	女子	合計
中国	88	103	191
韓国	14	7	21
ベトナム	3	3	6
台湾	3	2	5
ネパール	5	0	5
マレーシア	2	2	4
スリランカ	2	0	2
ミャンマー	0	1	1
イラン	0	1	1
英国(香港)	0	1	1
ガボン	1	0	1
タイ	1	1	2
バングラデシュ	1	0	1
ペナン	0	1	1
合計	120	122	242

## 学科・学年別留学生数(2012年度)

※学部生のみ

学科名	政治経済	コミュニティ政策	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	計
1年	15	18	9	6	0	6	3	57
2年	21	19	12	8	0	0	10	70
3年	12	20	13	10	0	0	2	57
4年	16	13	23	6	0	0	0	58
合計	64	70	57	30	0	6	15	242

## 学生の退学(除籍含む)状況について(学部)

### ■4年間の退学(除籍含む)状況

2008年4月に入学した学生数 694人  
 そのうち2012年3月に卒業した学生数 517人  
 そのうち2012年3月までに退学(除籍を含む)した学生数 113人

### ■1年間の退学(除籍含む)状況

2011年4月に入学した学生数 647人  
 そのうち2012年3月までに退学(除籍を含む)した学生数 50人

# 学費

## 授業料等納入金(2012年度)

学科	学年	学期	入学金	授業料	教育 拡充費	施設費	後援会 入会金	後援会費	学友会費	学会費	卒業関連 事業費	同窓会費	学研災 ガウン代	合計	年間合計	
政治経済 コミュニティ政策 欧米文化	1年次	春	280,000	355,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	—	—	—	6,300	875,300	1,350,300	
		秋	—	355,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	475,000		
	2年次	春	—	365,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	529,000	1,014,000	
		秋	—	365,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	485,000		
	3年次	春	—	375,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	539,000	1,034,000	
		秋	—	375,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	495,000		
	4年次	春	—	385,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	24,000	20,000	—	593,000	1,098,000	
		秋	—	385,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	505,000		
	合計			280,000	2,960,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	—	24,000	20,000	6,300	4,496,300	4,496,300
	日本文化	1年次	春	280,000	355,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	2,000	—	—	6,300	877,300	1,352,300
秋			—	355,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	475,000		
2年次		春	—	365,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	—	—	—	531,000	1,016,000	
		秋	—	365,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	485,000		
3年次		春	—	375,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	—	—	—	541,000	1,036,000	
		秋	—	375,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	495,000		
4年次		春	—	385,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	24,000	20,000	—	595,000	1,100,000	
		秋	—	385,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	505,000		
合計			280,000	2,960,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	8,000	24,000	20,000	6,300	4,504,300	4,504,300	
児童 こども心理 人間福祉		1年次	春	280,000	380,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	—	—	—	6,300	900,300	1,400,300
	秋		—	380,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	500,000		
	2年次	春	—	390,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	554,000	1,064,000	
		秋	—	390,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	510,000		
	3年次	春	—	400,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	564,000	1,084,000	
		秋	—	400,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	520,000		
	4年次	春	—	410,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	24,000	20,000	—	618,000	1,148,000	
		秋	—	410,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	530,000		
	合計			280,000	3,160,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	—	24,000	20,000	6,300	4,696,300	4,696,300

## (納入方法・その他の費用)

本学の学費等の納入時期は、春学期と秋学期の年2回納入となっています。

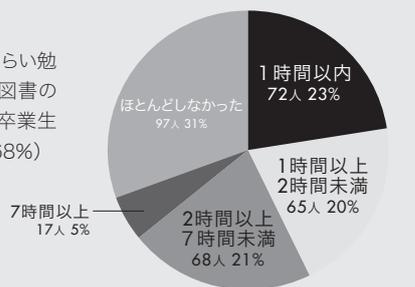
教育拡充費は、新入生オリエンテーションおよび教育用コンピューター維持に係る費用です。

教職課程などを履修する場合は、別途実習費用が必要となります。また児童学科、人間福祉学科で実習科目を履修する場合も実習費用が別途必要となります。

本学では、P検定資格を取得する「情報リテラシー」講座(必修科目)があり、受講費用は15,000円です。大学で講座を受講受験する方法、学外で受講受験する方法等があります。また、履修免除もあります。

### 在学中の学修時間

試験勉強以外で、1週間に何時間くらい勉強(授業準備、レポート作成、関連図書の読書等)をしましたか。(2011年度卒業生アンケート:回答者数376 回収率68%)



※有効回答数によりグラフを作成

# 奨学金

## ラーニングサポート制度

**減免について:**年間授業料の30%を学納金より減免。減免期間は1年間。

**対象:**1年生(日本人)。主として家計を支えている人の昨年1年間の所得金額が700万円未満。春学期学業成績GPA2.5以上。

**選考:**上記対象者の中から春学期学業成績および申請書などの選考により秋学期に決定。

**2011年度:**23名 **2010年度:**13名

## 進学・修学支援制度

現在進行中の金融危機の影響で経済的な理由から大学進学をあきらめざるを得ない受験生を支援するために聖学院大学では2009年度一般入試で「緊急・経済支援特別入試」を実施いたしました。2012年度入学の受験生に対しても、自立修学を支援するものとして以下の通り支援計画を実施しました。2013年度入学の支援についても実施いたします。

### 2012年度入学時支援

#### A 学費月払い制度の適用

- ・申請書に基づく審査によって決定。
- ・申請者のうち高校在学中に「学生支援機構第一種」に予約、確定した者は、入学後支援機構から振り込まれる費用を月々自動振替によって学費にあててくれます。

#### B 入学金免除

- ・申請書に基づく審査によって決定。
- ・入試ごとの審査により計30名まで。

#### 採用人数

年度	2012	2011	2010	2009
学費月払い制度の適用	27	12	21	※
入学金相当額給付	28	15	24	2

※2009年度緊急経済支援入試では、授業料の納入を最大4期分納。

## 2012年度 東日本大震災被災者進学・修学支援制度

東日本大震災にあっても、このために大学進学を夢をあきらめないでほしいと考え、特別入試制度と緊急経済支援措置を設けて、2011年度・2012年度入試D日程特別入試を実施しました(検定料は無料、詳細はP.19)。被災を受けられた方は被災の状況により、最大で入学金の免除と一年間の授業料の全額免除が受けられます。この緊急経済支援制度は、東日本大震災進学・修学支援制度になりました。2013年度でも同様の入学支援を行います。

### 1.対象地域

東日本大震災による災害援助法適用地域

### 2.対象者

- (1) 学費支弁者が死亡又は学費支弁者が居住する家屋の全壊もしくは全焼された方
- (2) 学費支弁者が居住する家屋の半壊もしくは半焼された方
- (3) 学費支弁者が居住する家屋が床上浸水された方
- (4) 学費支弁者が居住する家屋が床下浸水または一部損壊された方
- (5) 福島原子力発電所事故により生活状況が悪化された方
- (6) 被災に伴い家計状況が悪化した方

### 3.支援措置内容

審査の上、下記のいずれかを措置を決定いたします。

- A. 入学金の全額免除および2012年度授業料(春学期・秋学期)の100%を免除。
- B. 入学金の全額免除および2012年度授業料(春学期・秋学期)の50%を免除。
- C. 入学金の全額免除および2012年度授業料(春学期・秋学期)の25%を免除。
- D. 入学金の全額免除。

2012年度:新入生2名 2011年度:18名(在学生11名/新入生7名)

## 奨学金利用者数

### 聖学院大学独自奨学金給付・貸与者数

年度	2011	2010	2009	2008	2007
聖学院大学後援会 修学援助奨学金	2 春学期2(給付1) 秋学期0	5 春学期0 秋学期5(給付2)	5 春学期4(給付2) 秋学期1(給付1)	0	5 春学期2(貸与2) 秋学期3(貸与3)
第2奨学金 (ニードスカラシップ)	14 春学期7 秋学期7	26 春学期15 秋学期11	21 春学期11 秋学期10	25 春学期13 秋学期12	26 春学期14 秋学期12

## 日本学生支援機構奨学金貸与者数

日本学生支援機構の奨学金は、学業に励む学生自身に貸与されるものです。したがって卒業後、学生自身が返還することになります。返還金は、後輩の奨学金として再び活用する仕組みになっています。

年度	2011	2010	2009	2008	2007
第一種奨学金	43	44	36	36	36
第二種免除	190	180	187	156	108

## 外部奨学金給付者数

現在聖学院で取り扱っている奨学金は、上記奨学金以外にも都道府県・民間育英団体などからの各種奨学金があります。募集期間はほとんどが4～5月に集中しています。これらの奨学金は、給付・貸与の別、奨学金、採用人数、金額など条件が各々異なり、採用人員が少数です。

年度	2011	2010	2009	2008	2007
ツツミ奨学財団奨学金	1	1	0	0	1

## 留学生授業料減免対象者数

※学部生のみ

年度	2011	2010	2009
単位規定(30%)	198	220	190
成績上位(30%)	70	88	89

# ラーニングセンター

ラーニングセンターは学生の学習支援を行うところです。学生のみならず、学習面で困ったことやどこに聞いていいかわからないこと、担当の先生に聞きにくいことなど何でも相談できます。

大学での学びは自由であり、同時に責任が伴います。自分自身で目標を設定し、計画を立てて学習しなければなりません。多くの点で高校までとは異なり、戸惑うこともあるかもしれません。そんなときラーニングセンターは、学生一人一人が自分に合った学習方法を見つけるため一緒に考えます。

## 担当教員



センター長 児童学科特任講師  
佐藤 逸子

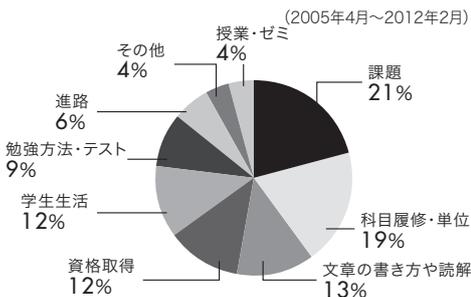


特任講師  
尾張 宏一

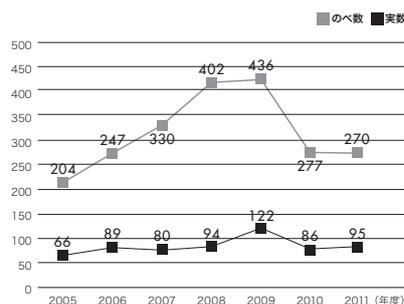


特任助手  
木村 美里

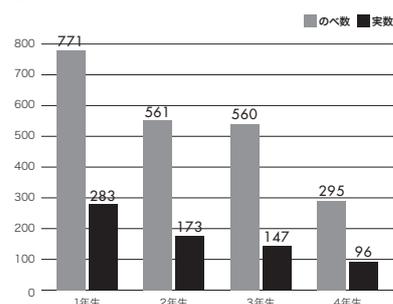
## 相談内容分布



## 年度別来室者数



## 学年別来室者数(2005年度~2011年度)

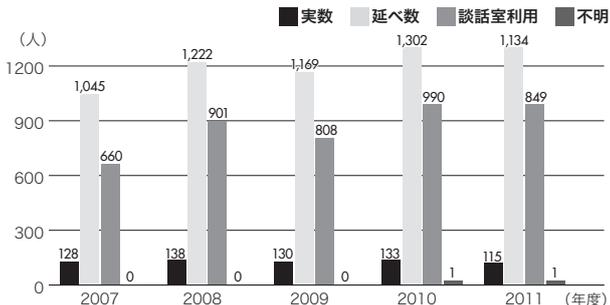


# 学生相談室

学生相談室は、大学生活を送る中で悩みや問題が生じたり、自分についてもっと考えたいと思うときに、その解決のお手伝いをするところです。心理的な相談だけでなく、思いがけないトラブルに遭遇してしまったり、聞きたいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない時など、学生が気軽に相談できる窓口となっています。臨床心理士によるカウンセリングの他、静かに過ごしたい、ゆっくり考え事したいという方のための談話室を運営し、学生相談室便りを年に数回発行して心の健康の啓蒙活動も行っています。

開室時間 月～金 10:30-17:30

## 相談室利用状況(2007年度~2011年度)



## 担当教員



室長 こども心理学科教授  
中村 啓男



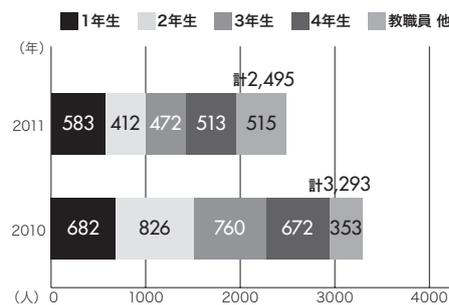
室長補佐 こども心理学科助教  
竹刈 香織

# 保健室

保健室では、けがや病気の応急処置の他に、健康関連の図書の閲覧や、アルコールパッチテスト、肥満指導も実施しています。授業期間中、毎週水曜日 13:30~14:30の間、学校医による診察や健康相談日も設けています。また、それ以外の日でも看護師による対症療法やアドバイス等も行っています。

開室時間 月～金 9:30-17:30 土 9:30-16:00

## 学年別来室者数



# 施設

## 施設・設備について

校地・校舎面積等	(㎡)	建物の用途別面積	(㎡)	食堂座席数	(座席数)
校舎・講堂・体育施設敷地	34,072	講義室・演習室	5,548	1号館学生ホール	394
屋外運動場敷地	26,241	実験室・実習室	1,617	4号館1階食堂	258
その他	2,405	研究室	3,000	エルビス館1階食堂	190
<b>計</b>	<b>62,718</b>	図書館	2,420	エルビス館2階インターネットカフェ	63
		管理関係・その他	11,003	エルビス館2階エルビスホール	68
		講堂(チャペル)	2,444	エルビス館2階特別食堂	20
		体育施設	1,578	<b>計</b>	<b>993</b>
		<b>計</b>	<b>27,610</b>		

## PC利用環境

場所	備え付けPC
1号館	デスクトップPC42台
2号館	デスクトップPC4台 ノートPC75台
4号館	デスクトップPC82台
キャリアサポートセンター	デスクトップPC3台
総合図書館	デスクトップPC40台・ノートPC20台
インターネットカフェ	デスクトップPC6台

## ピアノ・オルガン台数

グランドピアノ	4
ピアノ	27
エレクトーンピアノ	6
電子ピアノ	23
オルガン	3
<b>計</b>	<b>63</b>

## 図書館利用状況 (2012年3月31日現在)

### 蔵書冊数

年度	2011			2010	2009
	和書	洋書	小計		
<b>合計</b>	228,659	64,807	293,466	288,217	283,513
全国大学平均(2010年3月)				223,900	

(平均は図書館年鑑2011より)

### その他の資料

和雑誌	431
洋雑誌	119
スライド	34
マイクロ資料	18,825
カセットテープ	1,077
ビデオ・LD・DVD	2,951
CD	1,164
CD-ROM	667

### 入館者統計

年度	2011 <sup>※1</sup>	2010 <sup>※2</sup>	2009
開館日数	275	278	283
入館者数	143,428	145,628	142,258

※1 震災のため制限付開館を行った日がありました。

※2 震災のため臨時閉館および入館者数のカウントを行わない日がありました。

### 入館者数内訳

年度	2011	2010
学生計	131,796	131,568
教職員計	7,999	9,344
一般	3,633	4,716

### 開館時間(参考)

曜日	月～金	土
授業開講期間中	8:45～21:30	8:45～17:00
その他期間	9:00～17:00	9:00～15:00

### 休館日

日曜・祝日、クリスマス、年末年始の定める日、入試日、蔵書点検期間(年1回)

## 館外貸出冊数

分類	全体(教職員・一般含む)			院生・学生・履修生のみ		
	2011	2010	2009	2011	2010	2009
<b>合計</b>	21,187	22,381	22,515	16,657	16,596	17,749

全国大学平均(2009年度) 23,000

(平均は図書館年鑑2011より)

## 聖学院学術情報発信システムSERVE利用状況(2009～2011年度)

聖学院学術情報発信システム SERVE(Seigakuin Repository for academic archiVE)は、聖学院の研究および教育の成果を収集・蓄積・保存するとともに、Web上で世界に向けて情報を発信するシステムです。このような学術研究成果発信のシステムは「機関リポジトリ」といわれ、世界中で多くの大学や研究機関が構築、提供しています。SERVE もこの機関リポジトリの一つです。また、聖学院の電子的情報の散逸を防ぎ、情報の組織的保存(アーカイブ)を目指すものです。

<http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/>

年度	2011	2010	2009
登録件数	788	437	499
閲覧件数	321,438	217,141	92,863
DL件数	119,347	85,061	29,802

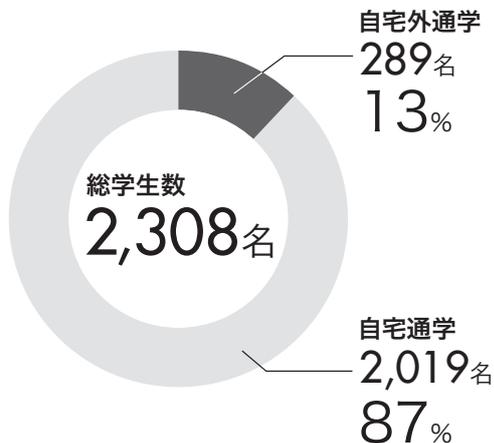
※閲覧件数とは、各紹介ページ(書誌)へアクセスした件数

※DL件数とは、添付されている本文データを開いた件数

# 通学状況

(2012年5月1日現在)

## 自宅・自宅外通学の割合



## 自宅外通学者の出身県

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
新潟県	38	岩手県	7	岐阜県	1
埼玉県	30	神奈川県	7	熊本県	1
群馬県	29	愛知県	4	島根県	1
福島県	24	秋田県	4	徳島県	1
宮城県	24	静岡県	4	兵庫県	1
長野県	20	青森県	2	広島県	1
栃木県	19	鹿児島県	2	福岡県	1
茨城県	14	富山県	2	宮崎県	1
東京都	14	長崎県	2	山口県	1
山形県	13	山梨県	2	<b>合計</b>	<b>289</b>
千葉県	9	大阪府	1		
北海道	8	沖縄県	1		

## 通学地域

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
茨城県	古河市	24	0	24
	猿島郡	5	0	5
	結城市	5	0	5
	筑西市	4	0	4
	つくば市	3	0	3
	稲敷市	1	0	1
	笠間市	1	0	1
	土浦市	1	0	1
	取手市	1	0	1
	坂東市	1	0	1
結城郡	1	0	1	
<b>小計</b>	<b>47</b>	<b>0</b>	<b>47</b>	
栃木県	小山市	9	0	9
	宇都宮市	8	0	8
	下都賀郡	6	0	6
	足利市	4	0	4
	佐野市	2	0	2
	下野市	2	0	2
	那須塩原市	2	0	2
	大田原市	1	0	1
	鹿沼市	1	0	1
	那須郡	1	0	1
矢板市	0	1	1	
<b>小計</b>	<b>36</b>	<b>1</b>	<b>37</b>	
群馬県	高崎市	11	0	11
	前橋市	10	0	10
	伊勢崎市	8	1	9
	邑楽郡	9	0	9
	渋川市	5	2	7
	館林市	5	0	5
	太田市	4	0	4
	藤岡市	3	0	3
	安中市	2	0	2
	佐波郡	2	0	2
桐生市	1	0	1	
<b>小計</b>	<b>60</b>	<b>3</b>	<b>63</b>	
埼玉県	さいたま市北区	65	112	177
	上尾市	82	30	112
	川口市	77	4	81
	さいたま市西区	32	44	76
	鴻巣市	60	4	64
	川越市	49	14	63
	熊谷市	50	1	51
	さいたま市見沼区	46	3	49
	越谷市	44	1	45

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
埼玉県	春日部市	41	2	43
	久喜市	42	1	43
	さいたま市浦和区	41	2	43
	さいたま市大宮区	29	9	38
	加須市	36	0	36
	桶川市	31	4	35
	さいたま市南区	32	3	35
	北本市	33	0	33
	深谷市	33	0	33
	行田市	30	0	30
埼玉県	さいたま市中央区	23	7	30
	さいたま市桜区	28	1	29
	さいたま市緑区	27	0	27
	比企郡	27	0	27
	ふじみ野市	27	0	27
	所沢市	26	0	26
	南埼玉郡	25	0	25
	戸田市	23	1	24
	新座市	24	0	24
	本庄市	22	0	22
埼玉県	草加市	20	1	21
	さいたま市岩槻区	20	0	20
	狭山市	19	0	19
	蓮田市	17	1	18
	東松山市	18	0	18
	坂戸市	15	1	16
	朝霞市	15	0	15
	鶴ヶ島市	14	0	14
	富士見市	14	0	14
	入間市	12	0	12
埼玉県	北足立郡	12	0	12
	北葛飾郡	11	0	11
	吉川市	11	0	11
	児玉郡	10	0	10
	羽生市	10	0	10
	入間郡	9	0	9
	志木市	7	1	8
	三郷市	8	0	8
	飯能市	6	0	6
	蕨市	5	1	6
埼玉県	和光市	5	0	5
	大里郡	4	0	4
	八潮市	4	0	4
	日高市	3	0	3
	幸手市	2	0	2

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計	
埼玉県	秩父郡	2	0	2	
	秩父市	2	0	2	
	<b>小計</b>	<b>1,380</b>	<b>248</b>	<b>1,628</b>	
千葉県	野田市	16	0	16	
	柏市	9	0	9	
	松戸市	9	0	9	
	市川市	5	1	6	
	流山市	4	0	4	
	我孫子市	2	1	3	
	船橋市	3	0	3	
	浦安市	2	0	2	
	千葉市	2	0	2	
	八千代市	2	0	2	
千葉県	君津市	1	0	1	
	佐倉市	1	0	1	
	白井市	1	0	1	
	<b>小計</b>	<b>57</b>	<b>2</b>	<b>59</b>	
	東京都	北区	46	3	49
		足立区	43	2	45
		板橋区	40	2	42
		練馬区	31	0	31
		大田区	19	1	20
		江戸川区	18	1	19
豊島区		17	1	18	
葛飾区		17	0	17	
荒川区		14	1	15	
江東区		13	1	14	
東京都	杉並区	12	2	14	
	中野区	7	2	9	
	西東京市	9	0	9	
	東村山市	7	2	9	
	世田谷区	8	0	8	
	台東区	7	1	8	
	清瀬市	7	0	7	
	品川区	7	0	7	
	文京区	7	0	7	
	小平市	6	0	6	
東京都	三郷市	4	1	5	
	新宿区	5	0	5	
	調布市	5	0	5	
	小金井市	4	0	4	
	渋谷区	3	1	4	

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
東京都	墨田区	4	0	4
	八王子市	4	0	4
	日野市	4	0	4
	港区	4	0	4
	目黒区	4	0	4
	青梅市	3	0	3
	千代田区	3	0	3
	東久留米市	3	0	3
	国立市	2	0	2
	国分寺市	1	1	2
東京都	立川市	2	0	2
	多摩市	2	0	2
	中央区	2	0	2
	府中市	2	0	2
	福生市	2	0	2
	武蔵野市	2	0	2
	あきる野市	1	0	1
	稲城市	1	0	1
	西多摩郡	1	0	1
	羽村市	1	0	1
東京都	東大和市	1	0	1
	町田市	1	0	1
	<b>小計</b>	<b>406</b>	<b>22</b>	<b>428</b>
	川崎市	17	1	18
	横浜市	12	0	12
	相模原市	2	0	2
	小田原市	1	0	1
	茅ヶ崎市	1	0	1
	<b>小計</b>	<b>33</b>	<b>1</b>	<b>34</b>
	神奈川県	その他	0	12
その他	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>12</b>

※学生の本人住所と保護者住所の一致の状況から算出。但し、留学生を除く。

# 課外活動

## クラブ・サークル一覧

分類名	団体名	所属人数
委員会・連合	学友会総務委員会	30
	学友会文化会連合	7
	学友会体育会連合	15
	学友会特別委員会連合	13
	ヴェリタス祭実行委員会	32
	卒業関連事業準備委員会	14
文化会	演劇部	33
	軽音学部 サウンドスクエア	50
	茶道部 表千家	21
	写真部	20
	法学研究会	23
	東南アジアボランティア部 Rung	18
文化会同好会	放送部	7
	アカペラ部 てくてく (2012.4昇格)	12
	イラスト文芸部 (2012.4昇格)	58
	手話同好会	13
	⑨たるクラブ	5
	民俗考古学研究会	7
体育会	剣道部	8
	硬式庭球部	28
	サッカー部	14
	スキー部ALPINA	7
	軟式野球部	16
	男子バスケットボール部	13
	バドミントン部	34
	男子バレーボール部	16
	女子ラクロス部	10
	陸上競技部	31
体育会同好会	スノーボード同好会 SNOW MONKEYS	20
	ソフトテニス同好会	13
	ソフトボール同好会 久米	7
	ダンス同好会 CRUSH	20
	バスケットボール同好会 GRIP	30
	バレーボール同好会	20
	硬式テニス同好会 ハブルス	14
	ハンドボール同好会	7
	フットサル同好会	20
	ボウリング同好会	12
特別委員会	サッカー同好会 kacy's	12
	聖学院大学クリスチャン・フェローシップ(SCF)	15
	聖学院大学フィルハーモニー管弦楽団(SPO)	42
	聖学院大学聖歌隊	8
	聖学院大学ハンドベル・クワイア	11
	聖学院大学ボランティア・アソシエーション(グレイス)	40

2012年2月現在

## 在学中のアルバイト時間

学期中、アルバイトとして週何時間くらい働いていましたか。  
(2011年度卒業生アンケート) 回答者数(376)、回収率68%

内容	回答数	割合
15時間以上	111名	34%
10時間以上15時間未満	63名	20%
5時間以上10時間未満	58名	18%
5時間以内	26名	8%
ほとんどしなかった	65名	20%

# 留学

## 主な短期海外研修の参加状況(2007~2011年度)

	国	大学/都市	政	コ	欧	日	児	福	計
2011年度	夏	アメリカ グランドバレー州立大学	2	0	1	0	0	1	4
		韓国 啓明大学校	0	0	0	3	0	1	4
	春	フランス (欧米文化学科フランス文化研修) リヨン	0	0	1	0	0	0	1
		オーストラリア ティーキン大学	0	0	4	1	0	1	6
		オーストラリア (児童学海外研修) フリンダース大学	0	0	0	0	11	0	11
		デンマーク (人間福祉学科北欧福祉研修) コペンハーゲン、オーデンセ他	0	0	0	0	1	9	10
	ドイツ (欧米文化学科ドイツ文化研修) フライブルク	0	0	1	0	0	0	1	
	韓国 (海外文化交流研修 アジア) 啓明大学校	0	0	0	7	0	0	7	
	小計		2	0	7	11	12	12	44
2010年度	夏	カナダ ビクトリア大学	0	1	6	0	0	0	7
		韓国 (海外文化交流研修 アジア) 啓明大学校	0	0	0	5	0	0	5
	春	オーストラリア ティーキン大学	0	0	6	0	0	0	6
		オーストラリア フリンダース大学	0	0	0	0	14	0	14
		フィンランド (人間福祉学科北欧福祉研修) ヘルシンキ、タリン等	—	—	—	—	—	15	15
		アメリカ (児童学海外研修) SAINTS*	—	—	—	—	2	—	2
	アメリカ (企業インターンシップ) ロサンゼルス	1	0	3	0	0	0	4	
	小計	1	1	15	5	16	15	53	
2009年度	夏	カナダ ビクトリア大学	新型インフルエンザの拡大により中止						
		韓国 (海外文化交流研修 アジア) 啓明大学校	新型インフルエンザの拡大により中止						
	春	韓国 啓明大学校	新型インフルエンザの拡大により中止						
		オーストラリア ティーキン大学	0	0	5	0	0	0	5
		オーストラリア (児童学海外研修) フリンダース大学	新型インフルエンザの拡大により中止						
		デンマーク (人間福祉学科 北欧福祉研修) スヴェンボー、オーデンセ等	0	0	0	0	0	18	18
	アメリカ (児童学海外研修) SAINTS*	新型インフルエンザの拡大により中止							
	アメリカ (欧米文化学科 企業インターンシップ) ロサンゼルス	—	—	1	—	—	—	1	
	小計	0	0	6	0	0	18	24	
2008年度	夏	アメリカ (児童英語研修) ハワイ	—	—	1	—	—	—	1
		カナダ ビクトリア大学	2	1	6	0	0	1	10
	春	韓国 (海外文化交流研修 アジア) 啓明大学校	0	0	1	6	0	1	8
		オーストラリア ティーキン大学	0	1	8	0	0	0	9
		オーストラリア (児童学海外研修) フリンダース大学	—	—	—	—	14	—	14
		フィンランド、スウェーデン (人間福祉学科 北欧福祉研修) ヘルシンキ、ストックホルム	—	—	—	—	—	9	9
	アメリカ (欧米文化学科 企業インターンシップ) ロサンゼルス	—	—	2	—	—	—	2	
	小計	2	2	18	6	14	11	53	
2007年度	夏	アメリカ UCLA	1	1	8	0	0	2	12
		アメリカ (児童英語研修) ハワイ	—	—	2	—	—	—	2
	春	カナダ ビクトリア大学	0	0	5	1	0	0	6
		韓国 (海外文化交流研修 アジア) 啓明大学校	0	0	0	5	1	0	6
		韓国 啓明大学校	2	0	1	2	0	0	5
		オーストラリア ティーキン大学	0	3	13	0	0	0	16
	オーストラリア (児童学海外研修) フリンダース大学	—	—	—	—	6	—	6	
	デンマーク、ノルウェー (人間福祉学科 北欧福祉研修) コペンハーゲン、オスロ	—	—	—	—	—	15	15	
	アメリカ (児童学海外研修) SAINTS*	—	—	—	—	4	—	4	
	小計	3	4	29	8	11	17	72	

\*SAINTS:聖学院アトラント国際学校 実施時期は年度によって異なるが11月または1月

## 提携校認定校留学者数

学科	政	コ	欧	日	児	福
2011年度	0	1	3	0	0	0
2010年度	0	0	2	0	0	0
2009年度	0	0	0	0	0	0
2008年度	0	0	1	1	0	0
2007年度	0	0	3	0	0	0